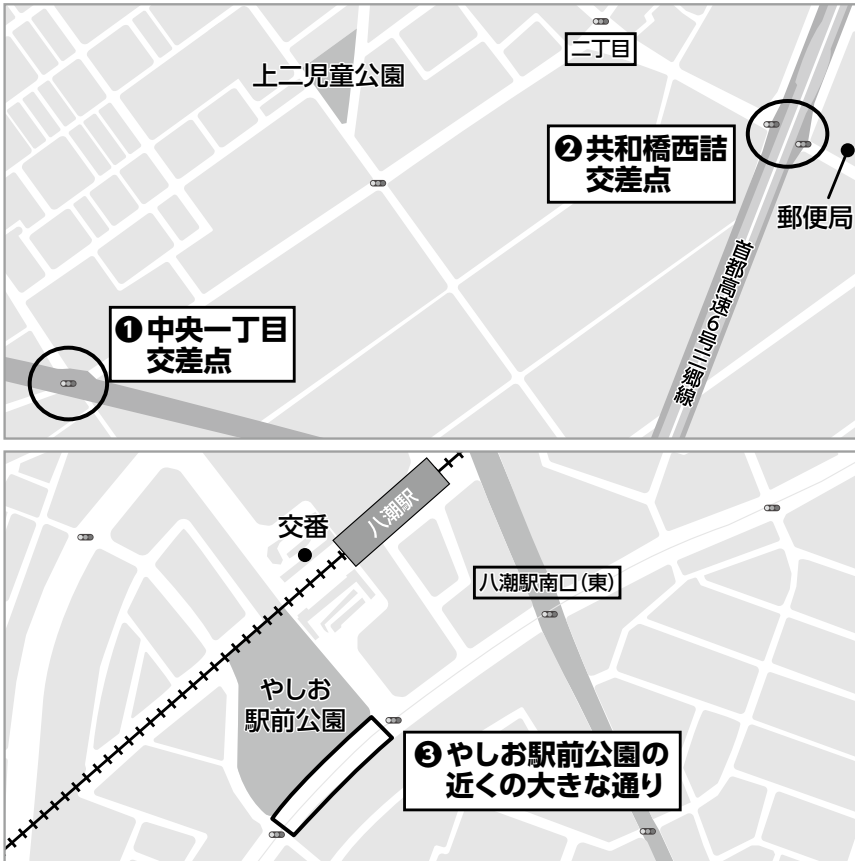


八潮南高校生が編集しました

交通安全



八潮南高校は、今年度学校全体で交通安全マップを作り、市内の交通事故の多い場所をまとめました。今回は、この交通安全マップの中から3カ所をピックアップし、実際に警察官と事故があった場所に行き、どのくらい危険なのか調べました。普段何気なく通っている道も、もしかしたら危険が潜んでいるかもしれません。



① 中央一丁目交差点

この交差点は、6つの道路が交わる交差点になっています。この交差点は複雑で、車やバイクが右折するためにウインカーを出していても、自分がどの道に進入するのかわからなくなってしまうことがあるそうです。また、歩行者や自転車側も、「1つ手前の道を曲がるだろう」「こっちには曲がってこないだろう」と思い込んで渡ってしまい、事故に遭ってしまうケースもあるようです。「こちらの道に曲がって

くるかもしれない」「こっちを見ていないかもしれない」と想定し、気をつけて周りを確認しながら横断しなければなりません。そして、車のドライバーも「〇〇だろう」と安易に考えずに、十分な安全確認をして運転するようにしましょう。



② 共和橋西詰交差点

共和橋西詰の交差点は、市内でも特に交通事故が多い交差点です。実際に自転車で走ってみると、共和橋に向かう途中の道では、車道と歩道の幅がとても狭くなっており、車と接触してしまうかもしれないと感じる箇所がありました。自転車は本来車道を走行しますが、危険な場合には歩道を走って良いことになっています。その際は十分歩行者に気をつけて走り、徐行することが大切です。この場所は交通量が多く、トラックなどの大型車も多

く走っています。さまざまな危険性を考え合わせながら、通行するようにしましょう。



③ やしお駅前公園の近くの大きな通り

この通りのように見通しの良い場所では油断してしまうことが事故の大きな原因です。そして、見切り発車や並列走行、スピードの出し過ぎなどにより、事故につながることも多々あります。また、この通りは自転車の交通量が多く、歩行者との接触や自転車同士の接触の危険もあります。安全に見えるような場所であっても、多く

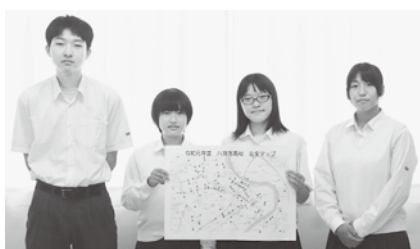
の危険が潜んでいるので、交通ルールを守って油断せずに、通行するようにしましょう。



八潮南高校

編集後記

いかがでしたか？今回お話を聞かせていただいた草加警察署の方、そして、取材に行っていた八潮市役所の方々、本当にありがとうございました。真夏に1日で市内を回るのは大変でしたが、自分たちの住んでいる地域の安全について考える貴重な機会となりました。



左から、板倉秋良、柴龍奈、篠宮ひな子、福田茜

今回、実際に現場に足を運ぶと、人通りの多い場所だけでなく、少ない場所でも事故が起こることがわかりました。今回取り上げた3カ所の中で最も事故が多かったのは、複雑な形をした六差路でした。しかし、事故が起きている

Q&A 警察官にインタビューしました

- Q 1日で一番事故の多い時間帯はどの時間帯ですか？
 A 1日を3時間ずつに分けると、最も多いのは午後3時～6時、次に多いのは午前6時～9時です。ちなみに一番事故が多い月は12月です。
- Q 主な事故の原因は何ですか？
 A 最も多い原因は、前や周囲をよく見ていない「わき見運転」などです。そのほか、一時不停止や信号無視など、交差点に関連する交通違反が原因となる交通事故も多発しています。
- Q 子どもや高齢者が危険だと感じる時には、どのような場面が多いですか？

A 子どもや高齢者に多いのは飛び出しですね。子どもは公園で遊んでいたボールをそのまま追って行ってしまい道路に飛び出してしまうことが多くあります。また、高齢者は普段使い慣れている道だからと油断して、車が来ないだろうと飛び出してしまうことがあります。

